

外国語活動学習指導案

単元名「 I want to go to Italy. 」

令和元年11月15日(金) 第5校時 音楽室
甘楽町立福島小学校 5年1組 指導者 吉原千奈美
Eric Bame

I 単元の構想

1 身に付けさせたい資質・能力および児童の実態

	身に付けさせたい資質・能力	児童の実態
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">興味がある国について、友達に伝わるように自分の考えを整理し、わかりやすく伝えようとする態度友達が紹介する国について、質問したり共感したりして知ろうとする態度	<ul style="list-style-type: none">9割の児童は、英語を使って友達と話すことに対して抵抗感なく楽しんでいる。数名の児童は、知っている語彙や表現が限られる中で、相手意識をもってやり取りをすることができる。
外国語への慣れ親しみ	<ul style="list-style-type: none">行きたい場所やそこでしたいことを聞いたり言ったりする表現への慣れ親しみ	<ul style="list-style-type: none">“She can run fast. He can jump high.”の単元では、自分が紹介したい人物やキャラクターについて、できることとできないことを楽しんで伝え合う姿が見られた。8割程度の児童は知っている単語や表現を使って、自分のことを表現することができる。
言葉や文化に関する気づき	<ul style="list-style-type: none">紹介する国の良さや特徴等の文化に対する気づき国名や食べ物、地名など、日本語と違う発音やイントネーション等の言語面での気づき	<ul style="list-style-type: none">外国の名前や場所、特徴などについての知識は総合学習や社会科で少しずつ触れている。学校給食の献立等で、外国の食べ物に触れたり情報を得たりしているので、ほとんどの児童は外国の食べ物について興味をもっている。

2 目標

自分が興味をもっている国について伝え合う諸活動を通して、相手を意識して伝えようとする意欲をもつとともに、自分の行きたい場所やそこでしたいことを聞いたり言ったりする表現に慣れ親しむ。

3 評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- 相手に配慮しながら、紹介する国について自分の考えを整理し、わかりやすく伝えようとしている。
- 友達が紹介する国について、質問したり共感したりして知ろうとしている。

【外国語への慣れ親しみ】

- 行きたい場所やそこでしたいことを聞いたり言ったりする表現に慣れ親しんでいる。

【言葉や文化に関する気づき】

- 紹介する国について伝えるために、その国について調べたり、友達の発表を聞いたりして、その国の良さや特徴に気づいている。
- 国名や食べ物や地名などの日本語と違う発音や、それぞれの国の特徴など、日本とは違う文化に気づいている。

4 単元計画および指導方針（全8時間）

※別紙参照

II 本時の学習

<ねらい> 友達を旅行に誘う活動を通して、国のよさや特徴を表す言葉を加えながら、相手にわかりやすく伝えようとする態度を高める。

学習活動	指導上の留意点
<p>1 あいさつ・ウォームアップをする。(5分)</p> <p>2 復習をする。(5分) 前時までの表現を使ってスマールトークをする。</p> <p>3 本時のめあてをつかむ。(5分) 他学年の先生がおすすめの国を紹介するビデオを視聴し、本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><めあて Today's goal> 相手により伝わりやすくなるように、情報を加えて、友達を旅行に誘おう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォームアップでは、楽しく学習できる雰囲気づくりをするともに、表現や語彙の定着を図る。 ・スマールトークでは、前時までに習った表現を使って会話をし、今後徐々に表現を活用して自己表現できるようにしていく。 ・本時のめあてをつかむ場面では、他学年の先生がおすすめの国を紹介するビデオを見せ、スマールトークで復習した前時までの内容との違いに気づかせることで児童自ら本時のめあてをつかめるようにする。
<p>4 よさや特徴を表す表現を知り、慣れ親しむ。(5分)</p> <p>beautiful / great / nice / big / exciting / delicious / fun... You can eat pizza. It's _____.</p> <p>5 友達を旅行に誘う活動をする。(20分)</p> <p>A : Where do you want to go? B : I want to go to France. Where do you want to go? A : I want to go to Australia. In Australia, you can see koala. <u>It's cute.</u> A : You can see the Ayers Rock. <u>It's great!</u> Let's go to Australia. B : Yes, let's go.</p> <p style="text-align: center;">↓ 中間評価</p> <p>A' : Where do you want to go? B' : I want to go to France. A' : <u>France? Me too. / Nice! / Good!</u> B' : Where do you want to go? A' : I want to go to Australia. B' : <u>Australia! / That's good.</u> A' : In Australia, you can see the Ayers Rock. <u>It's great.</u> B' : <u>Wow! It's great!</u> A' : You can eat kangaroo steak. <u>Do you like kangaroo steak?</u> B' : <u>Kangaroo steak? Ahh, I want to eat kangaroo steak..</u> A' : Let's go to Australia. B' : OK. Let's go!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の「表現したい気持ち」を大切にするために、よさや特徴を表す語彙は児童から出てくるものも取り上げる。 ・友達を旅行に誘う活動では、本時のめあてと会話の流れを確認できるように、ALT と HRT とのデモンストレーションを見せたり、ペアで一度練習させたりする。 ・より相手を意識したやり取りができるように、中間評価を行い、上手にコミュニケーションができる児童を紹介したり、相づちや相手の言葉を繰り返すなどの反応をする会話のビデオを見せたりして、コミュニケーション・ポイントを意識して会話を促していく。 ・また中間評価では、友だちとの会話の中で外国について新しく知ったことがあったかを児童に聞き、外国の文化について意識できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価項目】(見取りの方法) 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 相手がわかりやすいように、その国のよさや特徴を加えながら、旅行に誘おうとしている。 (観察・振り返りカード)</p> </div>
<p>6 本時の学習の振り返りをする。(5分) 本時のめあてに対して、言葉の面と内容の面について、できたことやわかったことなどを振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><振り返り> ☆相手に伝わりやすくなるように、情報を加えて友達を旅行に誘うことができた。 ☆Nice や繰り返しを使って会話しようと頑張った。 ☆○○さんを旅行に誘ったら□□のよさが分かってくれてうれしかった。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを確認して、振り返りをさせる。 ・振り返りシートには、評価項目となるコミュニケーションの観点を入れて振り返らせる。 ・記述では、できるようになったことや頑張ったことなどの他に、友達とのやり取りを通して、内容面でわかったことなども書くように促す。

November 15 th

Friday

Today's goal

相手により伝わりやすくなるように、情報を加えて、友達を旅行に誘おう。

天気

It's delicious.

どこ

行きたい国

できること

よさ・特徴

レッツゴー!!!

くりかえし

あいづち

感想

質問

OK / Sorry.